

平成28年度 冠スポーツ奨学金証書授与式を開催

4月5日、平成28年度鹿屋体育大学入学式終了後に、本財団は冠スポーツ奨学金証書授与式を行いました。

この奨学金は、企業、団体等の方々から多額の寄附をいただいた場合に、その名称を冠した奨学金として、学生に対して給付することとしているものです。式では各企業の代表者の方々から風呂井敬本財団理事長へ奨学金が授与されました。

その後、競技能力が高く、全日本又は国際試合などで活躍し、将来が有望な学生11名に対して風呂井理事長から奨学金証書を授与しました。

ご寄附をいただきました企業等の皆様に心から感謝いたします。

平成28年度 冠スポーツ奨学金給付者

企業等名	代表者名
医療法人秋津会 徳田脳神経外科病院	理事長 徳田 元 様
おおうら皮ふ科	院長 寺崎祐太郎 様
カイコー株式会社	代表取締役社長 村上 潤 様
株式会社鹿児島銀行	取締役頭取 上村 基宏 様
株式会社かのや寿自動車学校	代表取締役 水口 住康 様
株式会社きたやま	代表取締役社長 北山 勉 様
旭信興産株式会社	代表取締役 大石 博資 様
小鹿酒造株式会社	代表取締役社長 日高 裕二 様
有限会社寿スポーツ	代表取締役 三川 健治 様
サツマガス工業株式会社	代表取締役 宮蘭 善隆 様
株式会社新生社印刷	代表取締役 岡崎 洋人 様
医療法人青仁会池田病院	理事長 池田 徹 様
大海酒造株式会社	代表取締役 河野 直正 様
有限会社風呂井会計	代表取締役 風呂井 敬 様
株式会社丸屋	代表取締役社長 原 康一 様
株式会社三井	代表取締役 郷原 忠男 様
公益財団法人ミズノスポーツ振興財団	会長 水野 明人 様
株式会社ミズホ商会	代表取締役 田中 丈尋 様



冠スポーツ奨学金対象学生

競技部	学生名	所属
陸上競技部	坂倉 杏奈	徳田 優
	中村枝理子	江藤里佳子
体操競技部	前野 風哉	野上 竜太
	金田 浩斗	山本 大喜
柔道部	堀 歩未	堀 航輝
剣道部	松本 智香	

編集・発行／
 公益財団法人 鹿屋体育大学
 体育・スポーツ振興教育財団
 〒891-2393 鹿屋市白水町1番地
 鹿屋体育大学内
 0994-46-4827 (直)
 編集兼発行人 風呂井 敬

平成28年度鹿屋体育大学入学式 学長告辞

学長 福永哲夫



本日ここに、鹿屋体育大学体育学部198名、体育学研究科24名、合計222名の新入生を迎え、平成28年度の入学式を挙行できますことは、国立大学法人鹿屋体育大学の教職員ならびに在学生にとりまして、大きな喜びとするところであります。

そして、今日までご子弟を温かく見守り、ご支援を惜しまれなかつた保護者の方々をはじめ、関係各位の皆様方に、心からのお祝いを申し上げます。

また、御来賓の皆様には、御臨席を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、平成23年に制定された「スポーツ基本法」では、「全ての国民はスポーツを楽しむ権利を有する」ことが法律で謳われています。

さらに、昨年10月には「スポーツ庁」が発足しました。

このように、近年、スポーツが有する文化的・社会的意義は今や国際的にもゆるぎないものとして生活の中に根付いてきております。

ところで、1992年の「新ヨーロッパ・スポーツ憲章」では、「スポーツ」を「体力向上、精神的充足感の表出、社会的関係の形成、競技力向上を目的とするあらゆる身体活動の総体」と定義しております。

つまり、スポーツを実施する時の動機や目的を「健康スポーツ」「教養スポーツ」として「競技スポーツ」に分類できま

鹿屋体育大学は「スポーツ」の研究と教育を専門とする大学であり、また、スポーツ科学や体育科学は、人間が健康で文化的な生活ができるよう、身心を育成すること

それらのスポーツの目的に合った身心を創造するために、科学的に裏付けられた理論と方法に従った科学的な指導が必要になります。

今日（こんにち）、健康で文化的な生活に資する体育・スポーツ活動を科学的にアプローチする必要がありますがますます高まっています。

スポーツの科学的アプローチは主として自然科学的手法や人文社会科学的手法が用いられてきましたが、現在では、スポーツの出来栄え、すなわち、スポーツパフォーマンスを独自の科学的に分析・統合する手法、つまり、スポーツパフォーマンス科学が新しく用いられるようになってきております。

鹿屋体育大学は、これらのスポーツ科学をさらに発展させる使命があり、その研究成果を基に体育・スポーツを教育し、社会に貢献することを目的とした大学であります。

皆さんには、将来、ベースボールを考えると「健康スポーツ」「教養スポーツ」として「競技スポーツ」の専門家として成長していただきたいと思っております。

そのスポーツの専門家としては、主に4つの道があります。

第1の道は、スポーツ指導者であります。指導者には学校教育における体育教員としての指導者、競技選手を指導するコーチやトレーナー等の競技スポーツでの指導者、健康体力づくりを目指す人を指導する健康スポーツでの指導者であり、健康で文化的な生活を目指す高い資質の生活を発揮できるように「教養スポーツ」での指導者などあります。

第2の道は、スポーツ科学の研究者であります。自らの最も興味があり得意とする学問領域の知識と技術を駆使してスポーツ科学の研究を専門とする研究者であります。

第3の道は、オリンピックに代表されるトップアスリートを目指す道です。授業や課外活動を通して優れた体力と技術及び知識を身に付け、日本や世界のチャンピオンを目標としたトップアスリートを目指すこと

そのような人生の目標を達成させるためにも、皆さんは、これからの4年間を教職員と一緒に、体育学、スポーツ科学を学習し研究していただきたいと思っております。そして、これからの社会に必要なリーダーとしての能力を備えていただきたいと思っております。

最後に申し上げますが、改めて本日ここに、御来賓各位ならびに保護者の方々、御列席を賜りましたことに厚く御礼申し上げますとともに、新入生の皆さんへの期待と激励を述べ、告辞いたします。



ミズノ地球環境保全活動「Crew21」

健やかなスポーツシーンを人へ、地球へ

ミズノは、環境に配慮したモノづくりとサービスを通じて地球環境保全活動に貢献します

明日は、きっと、できる。

入学おめでとう!!

平成28年度入学式

4月5日、鹿屋体育大学では平成28年度入学式が行われ、体育学部178名(スポーツ総合課程126名、武道課程52名)、同第3年次編入学20名(スポーツ総合課程20名)、大学院体育学研究科体育学専攻修士課程14名、同博士後期課程6名、スポーツ国際開発学共同専攻修士課程2名、大学体育スポーツ高度化共同専攻3年制博士課程2名の計222名が入学しました。

式では、新入生を代表して長谷川瑞樹さん(スポーツ総合課程)が「本学創設の理念にのっとり、品位を保ち、実践的な体育指導者を目指して、学業及び競技力の向上に励みます。」と宣誓を行いました。

また、来賓を代表して、中西茂鹿屋市長から「ご入学おめでとうございませう。鹿屋体育大学の優れた校風と先輩方がこれまで築いてこられた素晴らしい伝統、そして「鹿屋魂」を受け継ぎ、自らの夢の実現に向けて邁進してください」とお祝いの言葉が贈られました。

その後、在学生代表の水野泰貴さん(同3年)による歓迎の辞、役員及び教職員の紹介、学生歌斉唱が行われ、閉式となりました。

式典後には、会場となった水野講堂や「ご入学おめでとうございませう」と書かれた懸垂幕の前で記念撮影をする姿も見られ、新生活のスタートに胸を躍らせているようでした。



学生歌斉唱



在学歓迎の辞



中西市長



入学宣誓



新入生の様子



学長表彰

鹿屋体育大学新入生を地元市民が歓迎

鹿屋体育大学で入学式が行われた4月5日の夜、地元団体でつくる鹿屋市地域づくり交流事業実行委員会の主催による鹿屋体育大学新入生歓迎会が同市内の「リナシティ」の「ヤイイベント広場」で開催され、新入生をはじめとする鹿屋体育大学関係者約280名が参加しました。

今回で20回目となるこの歓迎会は、県外出身者の多い同大学の新生に地元市民や団体との交流を通じて、鹿屋の地に早く慣れ親しんでもらうことを目的



田中会長

また、歓迎アトラクションでは、地元産黒牛・黒豚の焼肉やカンパチの握り寿司、さつまあげなど、鹿屋市特産品を使った料理が多数振る舞われ、新入生に大変好評でした。



盛り上がったアトラクション



鹿屋の食べ物を食す



カンパチダンス



野外でのカレー作り



学生歌の練習

鹿屋体育大学では、4月1日から2日までの泊2日の日程で、体育会の企画・立案によるプログラムを含めた、平成28年度新入生合宿研修を実施しました。

この研修は、1泊2日の合宿研修を通じて、今後4年間の学生生活を有意義に、より良く過ごせるように、新入生同士の間関係を形成し、合わせて上級生及び教職員との良好な関係を築くことを目的としており、新入生、学生委員会委員、体育会役員等合わせて207名が参加しました。

1日目は、まず、同大で入学式が行われた4月5日の夜、地元団体でつくる鹿屋市地域づくり交流事業実行委員会の主催による鹿屋体育大学新入生歓迎会が同市内の「リナシティ」の「ヤイイベント広場」で開催され、新入生をはじめとする鹿屋体育大学関係者約280名が参加しました。

今回で20回目となるこの歓迎会は、県外出身者の多い同大学の新生に地元市民や団体との交流を通じて、鹿屋の地に早く慣れ親しんでもらうことを目的

2日目は、3年次編入生が同所に合流し、中村夏実学生委員会委員から「学生生活の諸注意」について受講した後、本学新入生からは「これが

閉会式では、グリーンアドベンチャーの表彰が行われ、上位3チームに賞が贈られました。

新入生からは「これが

平成28年度新入生合宿研修を実施

らの大学生活が楽しくなる研修になった」「入学前に友達が出来て良かった」「カレー作りやグリーンアドベンチャーを協力して取り組め、クラスの仲間意識が深まったように感じた」との声が聞かれ、非常に有意義な研修となりました。

大型二種免許から大型二輪免許まで取得可能です

送迎バスもご利用できます

入校日
毎週水曜日・土曜日
AM 8:30~9:00
PM 1:00~1:20

〒893-0057 鹿屋市今坂町10115番地 Ⅸ(0994)43-4141

KANOYA DRIVING SCHOOL
鹿屋自動車学校

すべての消費者のために!!

MOVE It's your Future

寿スポーツ

鹿屋市礼元1丁目3番5号 TEL 0994-44-2123

バス 寿自動車学校

バス 鹿屋農業高校

バス R269

バス ドラッグイレブ

Kubota 農業機械 株式会社

三ズホ商会

http://www.mizuho.kubota.ne.jp

〒893-0009 鹿屋市大浦町12番1号

TEL (0994) 43-4178 FAX (0994) 44-9371

【営業所】
鹿屋・高山・志布志・岩川・牧之原・野方・垂水・大根占

あなたの町に、レモンガス

株式会社レモンガスがこしま 鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1 0994-42-2181



◆ご挨拶



スポーツ・武道実践科学系 講師 角川 隆明

◆赴任に際して



スポーツ生命科学系 教授 安田 修



スポーツ人文・応用社会科学系 講師 萩原 悟一

◆ご挨拶

3月1日付で着任しました角川(つのかわ)隆明と申します。主に水泳競技やコーチング論についての授業を担当いたします。これまで11年間にわたり筑波大学に在籍し、選手や指導者として水泳競技に携わってきました。この期間中、鹿屋体育大学は学生水泳の日本一を決定する日本学生選手権にて5度の女子総合優勝を成し遂げ、同じ国立大学として目標とするチームとなっていました。現在は日本一から少し遠い位置にありますが、再び黄金時代を築けるよう全力で取り組んでいく所存です。

また、研究についても水泳の競技力向上に関連した課題に取り組んでいます。水泳は「水」に対して力を加えたり、「水」から抵抗を受けたりして推進する運動ですが、現時点ではこれらの力を正確に評価できる方法論は確立されていません。そこで私はセンサ技術などを用いて泳者の身体に働く力の推定方法の構築に取り組んでいます。競技だけでなく研究においても良い成果を発信できるように、取り組んでいきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

熊本大学循環器内科学から赴任して参りました安田です。鹿児島生まれです。高校時代までを鹿児島で過ごし、東京、静岡、大阪等を巡って本年4月に生まれ故郷へ帰って来たかたちになります。米国ノースカロライナ州にも3年ほど滞在したことがあります。ライト兄弟が世界初の飛行機を飛ばしたところ、海岸へ行くことと離陸地点と着陸地点に記念碑を見ることが出来ます。各地ではいくつかの学問的領域を専門としてきました。現在の専門はミトコンドリア学です。ミトコンドリアは体内で消費されるエネルギーの殆ど全てを生産している細胞内器官です。ミトコンドリアを活性化することにより生体は多くのエネルギーを得ることが出来ます。逆にミトコンドリアの機能が悪くなるとエネルギーを得られないばかりか、老化の進行にも関わってくると言われております。今後はミトコンドリア学の知識をスポーツに活用することを目標にして行きたいと考えています。

4月1日付で着任いたしました萩原悟一と申します。主にスポーツマネジメントに関わる学部、大学院の授業を担当いたします。研究活動においては、わが国のスポーツ参加率向上を目標とした人々のスポーツへの傾倒行動(する・みる・支える)の検証を主に研究を進めております。また、日本人と欧米人における人々のスポーツ傾向行動の国際比較研究から、わが国のスポーツ参加者の特性を捉えることも行っております。

さて、私の学生時代を振り返ってみると、「仁・義・礼・智・信」をモットーに大学生活を送っておりまして。仁は人を思いやること、義は利欲にとらわれないこと、礼は上下関係を学ぶこと、智は知識を習得すること、そして、信は友情を長くみ誠実になることです。鹿屋体育大学の学生の皆様は、わが国唯一の体育学専門の国立大学に選ばれし方々です。すなわち、わが国のスポーツを担うリーダーとして期待がなされているのです。その誇りを胸に学生時代を謳歌してください。そのためのサポートを全力でいたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

高校生のための最新スポーツ科学 体験プログラムを実施

鹿屋体育大学では、3月25日(土)・27日(日)の3日間、高校生のための先進的科 学技術体験合宿プログラム「スポーツサイエンス キャンプ in 鹿屋体育大学」を開催しました。このプログラムは、人間の身体能力を極限状態にまで高め、限界に挑戦するスポーツ科学の最先端テクノロジーを紹介するとともに、パフォーマンスの向上に最先端科学が果たす役割について理解を深めてもらうことを狙いとしています。さらに、スポーツ科学の研究成果が、一般の人の健康づくりにも幅広く応用され、国民すべての健康の維持・増進に対しても大いに活かしていきたい。このプログラムを通じてさまざまな発見をすることも、同じ夢を持つ仲間と協力しながら実験に取り組むことで、良い刺激を受け、交流を深めたよう で、最終日に行われた閉講式では、「今回学んだことを自分の競技力の向上に活かしていきたい。」 「苦手な理系科目を克服し、鹿屋体育大学へ入学し、スポーツ科学について学びたい。」 「スポーツ活動と持久力」



ハイスピードカメラを用いた動作解説



筋活動に関する実験



- 3月26日 前田明教授 「スポーツ科学」という科学
- 3月25日 講義・実験I 「スポーツ活動の3次元分析」
- 3月27日 講義・実験III 「スポーツ活動と持久力」
- 3月26日 大谷謙吾教授 「苦手な理系科目を克服し、鹿屋体育大学へ入学し、スポーツ科学について学びたい。」
- 3月25日 講義・実験II 「スポーツ活動と脳・神経・筋活動」
- 3月26日 中本浩揮准教授 「苦手な理系科目を克服し、鹿屋体育大学へ入学し、スポーツ科学について学びたい。」

サークル紹介

水泳部

水泳部は現在、顧問の田口信教先生、監督の萬久博敏先生として3月から新しく角川隆明先生を迎え活動しています。昨年4月の日本選手権において2人が決勝に進出し、そのうち1人がユニバーシアード代表に選出されました。そして7月に行われたユニバーシアード大会では見事優勝をすることが出来ました。また日本学生選手権においても4年生の村中みいなが800M自由形で5位入賞、同じく4年の大黒舞子が100Mバタフライで7位入賞をすることができました。今年は、去年の結果を踏まえ『Reborn』というチーム目標を掲げました。部員一人一人が生まれ変わり、進化するという意識を持ち続けることで昨年以上の結果を残せるのではないかと感じこの目標にしました。また男子は『ベスト率80%』女子は『BONOS~ベスト率100%で160点~』という目標を掲げました。男子が掲げた目標の理由として、去年の日本学生選手権でベスト率が30%だったことから、今年は絶対に目標を達成するという意識を持ち続ける為に、80%というベスト率を男子の目標として定めました。女子は、日本学生選手権においてチームとしては目標を達成することができず、5点差という僅差でシード校に入ることが出来ませんでした。今年はその悔しさを糧に部員同士の絆(BONOS)を大切にしていきたいからみんながシード校に入ろうというところでの目標にしました。この目標を達成する為に現在、朝は5時30分からの厳しい練習に加え、今まではあまり行っていなかったウェイトトレーニングや科学的データに基づく高強度トレーニングに取り組んでいます。部員全員が絶対に目標を達成したいと強く思い、常に自分に挑戦し続けていきたいと思っておりますのでこれからも水泳部の応援よろしくお願い致します。

守るべきは鹿児島の自然 伝えるべきは鹿児島の食文化

小鹿酒造株式会社

鹿児島県鹿屋市吾平町上名7312番地
TEL0994-58-7171 FAX0994-58-8363
http://www.shochu-kojika.jp
お酒は20歳を過ぎてから。

自宅・アルバイト先 ← DIRECT! → 自動車学校 ← DIRECT! → 学校・寮

★その日のスケジュールに合わせて1時間おきにダイレクト送迎 忙しい学校生活の強い味方です!!

★提携会社による分割払いも月々5000円からご利用になれます

心豊かな車社会を願う **寿自動車学校**

心豊かな車社会を願う **寿自動車学校**

TEL 0994-43-2627 E-mail: info@kotobuki-ds.jp

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市礼元1-13-30 県公安委員会指定教習所(技能試験免除)

ホームページURL http://kotobuki-ds.jp

何か物足りない、何か決め手に欠く、 そんな“あと一歩”をお手伝いします。

ヒューマン印刷に徹する **株式会社 新生社印刷**

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市礼元1-22-34
TEL 0994-43-2238/FAX 0994-43-7541
URL http://www.shinsei-p.co.jp E-mail kan@shinsei-p.co.jp

福岡・熊本・鹿児島・宮崎・国分・川内・都城・奄美・種子島・屋久島 大口・指宿・南薩・志布志・南大隅・串間・日南・出水・始良・曾於

